

29年8月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成29年 8月1日～ 29年8月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は5社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/8月	9月	10月
入荷動向	国産材製材品	△ 30.0	△ 10.0	0.0
	外材製材品	△ 20.0	0.0	0.0
	その他	△ 12.5	0.0	0.0
販売動向	国産材製材品	△ 20.0	10.0	10.0
	外材製材品	△ 40.0	0.0	△ 10.0
	その他	△ 12.5	0.0	12.5
在庫動向	国産材製材品	△ 30.0	△ 20.0	0.0
	外材製材品	△ 20.0	△ 10.0	0.0
	その他	0.0	12.5	0.0

・国産材製材品の入荷動向は8月、9月の減少から10月は横ばいに。外材製材品及びその他は8月の減少から9月、10月は横ばいに。
・販売動向は、国産材製材品は8月の減少から9月、10月は増加に。外材製材品は8月の減少から9月は横ばい、10月は再び減少に。その他は8月の減少から9月は横ばい、10月は増加に。
・在庫動向は、国産材、外材製材品とも8月、9月の減少から10月は横ばいに。その他は8月の横ばいから9月は増加、10月は再び横ばいに。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		29/8月	9月	10月
スギ	柱角 KD10.5×3	10.0	10.0	10.0
	柱角 KD12×3	10.0	10.0	10.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	△ 10.0	0.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	0.0	0.0	0.0
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	12.5	12.5	12.5
	柱角 KD12×3	12.5	12.5	12.5
	土台角 10.5×4	50.0	12.5	12.5
	土台角 12×4	25.0	12.5	12.5
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
カマツ土台角10.5×4	—	—	—	
米マツ平角	12.5	25.0	37.5	
米マツ割物	16.7	33.3	33.3	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	0.0	0.0	12.5	

・スギ製品の価格動向は、柱角KD10.5×3、同12×3とも強含み。その他の品目は保合い。
・ヒノキ製品は、通し柱は保合い。これ以外の品目は強含み。
・外材製品は米マツ平角、割物とも強含み。北洋エゾマツタルキ、アカマツタルキは保合い。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・国産材・外材とも入荷は順調。販売動向は、8月は実働日数が少ないため若干減少。在庫動向は、国産材・外材とも横ばい（関東）。
- ・入荷は、ヒノキはやや品薄、外材は米マツKD正角及び小割も品薄。販売は、国産材・外材とも例年8月は販売不振。在庫は、合板、欧州材は値上げに備えてやや増やしている（中部）。
- ・入荷・販売・在庫動向は特に変化なし（中部）。
- ・ヒノキKD材は九州からの入荷量が減少している（大阪）。

(価格動向)

- ・スギ柱角（KD10.5cm）60,000円/m³、（KD12.0cm）60,000円/m³、スギ桁角（東北材：グリーンラフ）40,000円/m³、母屋角（東北材）（二等）30,000円/m³、スギタルキ（東北材）45,000円/m³、スギ間柱 特一（KD）60,000円/m³、スギ加工板（グリーン材）束3,800円、（KD）束4,800円、スギヌキ（東北）40,000円/m³、秋田材50,000円/m³ スギ平割（プレーナー）45,000円/m³、同（ラフ）43,000/m³、ヒノキ柱角（KD）・土台角10.5cm、12.5cm 80,000円/m³、米マツ平角KD 65,000円/m³、米マツ割物 AD 65,000円/m³、北洋アカマツタルキ（アSEMBル単価）（S）70,000円/m³、（P）60,000円/m³、（バンドル単価）（S）67,000円/m³、（P）57,000円/m³（関東）。
- ・スギは九州材の値が上がる可能性有り。10.5角は不足気味。その他は落ち着いている。ヒノキは入荷がおくれている。今後の値上げに注意する必要がある。10.5角と土台角は不足気味で価格は強気配。外材は中国木材の動向に注意している。米マツ平角、割物はRWの値上げのタイミングで上がる可能性あり。北洋アカマツ・エゾマツタルキは良材が少なく、相場の変動なし（中部）。
- ・スギ製品に変化は見られない。ヒノキ土台角10.5角のみ品薄。九州・四国方面の原木減少により、若干の値上げ（中部）。